

伊豆志云、國內神名記云、一品當后宮トアルハ蓋是也、

佐伎多麻比咩命神社

佐伎多麻比咩は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

考證に、古事記曰、活玉前玉比賣と云り、連胤按るに、こは三島神の裔神にて同名異神なるべし、さるは前後三島の御子神とよまはるゝ中に、此一神のみ他の裔の交れる由あるべからず、猶考ふべし、

神位

文德實錄、嘉祥三年六月庚戌、伊豆國佐伎多麻比咩命授從五位下、

伊太氏和氣命神社

伊太氏和氣は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

考證に、神代紀曰五十猛神と云り、連胤按るに、此も前に同じく、三島神の裔にてぞあるべき、下の條祭神を附會したるは皆此に准ふべし、

神位

文德實錄、嘉祥三年六月庚戌、伊豆國伊太豆和氣命授從五位下、仁壽二年十二月丙子、加伊豆國伊太豆和氣命神從五位上、又齊衡元年六月己卯、加伊豆國伊太豆和氣命神從五位上、同位

豆國伊太豆和氣命神從五位上、又齊衡元年六月己卯、加伊豆國伊太豆和氣命神從五位上、同位

阿豆佐和氣命神社

阿豆佐和氣は假字也○祭神明か也○利島に在す、志例祭 月 日、

神位

文德實錄、嘉祥三年六月庚戌、伊豆國阿豆佐和氣命授從五位下、仁壽二年十二月丙子、加伊豆國阿豆佐和氣命神從五位上、又齊衡元年六月己卯、加伊豆國阿豆佐和氣命神從五位上、同位

多祁美加加命神社

多祁美加々は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

考證に、舊事紀天忍男命子建額赤命、○伊豆志に、吉佐美村ニ三島明神坐ス、白鬚ヲ配祀ス、源三位賴政ノ配アリ、其略ニ曰、豆州十七番ノ御神、神尾山御倉山ノ麓多田美河ノ河上ニ坐マスハ、當朝日、里月吉村ノウフスナ大明神、人皇六代ニ當テ與津彦與津姫ト云々、コノ神必式社ナルベケレドモ、祠典何レノ命ナルカ、或曰、コレ多祁美加々命神社、多田美河ト語相類シテ訛誤アルカ、と云り、伊豆志記云、三島明神トスルハ昔祠城ニ若宮祠アリ、コレ三島神ニ從ヒシ若宮ナルユエ、三島ト稱セシナラン、

神位

三代實錄、仁和二年十一月廿五日庚子、授伊豆國正六位上多都美加々命神正五位下、

物忌奈命神社 名神大

物忌奈は毛乃伊美那と訓べし○祭神明か也○神集島に在す、今定大明神と稱す、志例祭 月